

バリューチェーンを支える重要テーマ

コーポレート・ガバナンス

経営体制および内部統制システム[※]を整備・運用し、効率的かつ健全で透明性の高い経営を行い、信頼され期待される企業になるべく、コーポレート・ガバナンスの強化を進めています。取締役会は社外取締役3名を含む8名で構成し、その機能を強化するため経営戦略会、経営執行会議を開催

しています。監査役会は複数名の社外監査役を置き、内部監査室、会計監査人と連携し、経営状態の監査を実施しています。また、法令・定款・社内規定への適合をより確かにすべく、内部統制委員会、倫理違反相談窓口を設置しています。

※「ニチバン内部統制システム」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/governance/#nav_anc4

コンプライアンス

コンプライアンス・マインドを全社員で共有するために「ニチバングループの倫理」[※]を定めています。また、日々の活動の中で実践していくための具体的な手引きとして「ニチバングループ行動ハンドブック」を作成し、配布しています。

「ニチバングループ行動ハンドブック」は年1回見直しを行い、社会情勢や関係法令の変化に随時対応するとともに、教育研修や会議の中で周知を図ることで、グループ全体としてコンプライアンスを徹底しています。

※「ニチバングループの倫理」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/governance/#nav_anc2

リスクマネジメント

大規模災害などの緊急事態の発生に備えて「緊急時対応規則」を定め、「災害時初動マニュアル」を配布するとともに、安否確認システムや帰宅困難者対応など、災害に備える体制を整え訓練を行っています。事業継続計画については、「ニチバングループBCP基本方針」[※]にて基本的な考え

方を明確にしています。また、主要会議体としてBCP委員会を設置し、災害発生時と事業継続・復旧時の各段階で実施すべき行動のマニュアル化、事前の予防処置等の作業を進めています。特に製品の供給責任を強く認識し、可能な限り供給を維持するための準備を行っています。

※「ニチバングループBCP基本方針」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/governance/#nav_anc3

情報セキュリティ

現在社会において、IT(情報技術)は事業戦略に欠かせないものとなっており、情報システムが経営に大きな影響を及ぼすようになってきました。ニチバングループはIT統制を整備し運用することで、情報システムにまつわるリスクを適切に

コントロールし、ITガバナンスを実現します。また、ITセキュリティ方針[※]のもと、一人ひとりが情報セキュリティに対する適切な知識を持ち、誰もが安心して情報技術を扱うことにより、品質と健全性を守ります。

※「ニチバングループITセキュリティ方針」 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/sustainability/way_of_thinking/#anc02

ダイバーシティ推進と人財育成

女性活躍推進

ニチバンでは、働き続ける施策は整備されているため「勤続年数に男女の差はない」が、「管理職比率に男女の差がある」という課題解決に向けて、第二期行動計画(2019年4月1日～2024年4月1日)を策定しました。

これまで、ポジティブアクションとして、キャリア形成の機会が十分でなかった女性リーダー層に対して「キャリア研修」と「目標設定研修」を実施、また社内の風土醸成を目的として、全管理職へ「多様性マネジメント研修」、役員へ「働き方改革講話」を実施してきました。

今後も、男女にかかわらず誰もが活躍できる職場を目指した取り組みを進めていきます。

障がい者雇用の推進

ニチバンでは、障がい者とともに成長していく職場づくりを進めています。テープ安城工場では2019年より、障がい者のご家族とのコミュニケーション促進を目的に、仕事内容や職場の様子などを掲載した新聞の発行をスタートしました。ご家庭内でも仕事について話をすることで、障がい者本人のモチベーションアップを図り、やりがいを持って働くことができる環境整備に取り組んでいます。また、仕事をする上で必要な知識習得の一環として、危険予知訓練や他社見学を実施しました。

採用活動としては、特別支援学校からのインターンシップ受け入れを2019年も継続し、次年度の採用につなげています。

今後も多様な人財が活躍する企業を目指し、障がい者雇用に総合的に推進していきます。

将来の持続的成長を担う人財育成

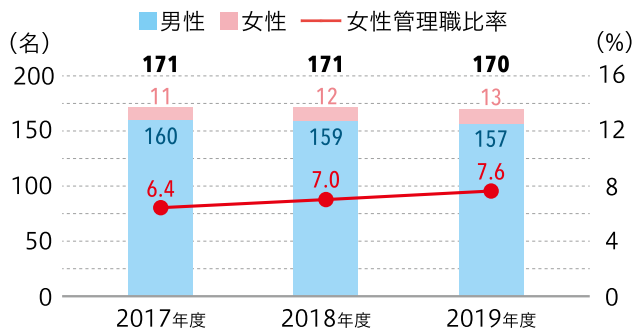
ニチバンでは、専門性と創造性に富み、新たな領域にチャレンジする意欲にあふれた人財の育成を目指す教育研修を実施しています。入社後は、階層別教育を主体にニチバンで働く社会人としての基礎を身につけ、その後は専門教育を中心に、一人ひとりの役割に応じた専門的力量を養います。また、共通テーマを社員全員がタイムリーに学べるよう、Eラーニングシステムを活用しています。

海外事業の拡大実現に向け、グローバル人財の育成も推進しています。通信教育や英語テストの費用補助に加え、公募研修を通して互いに切磋琢磨しながら、世界で活躍するための能力向上を図っています。

社員の状況

		単位	2017年度	2018年度	2019年度
従業員数			749	754	750
	男性	名	557	558	557
	女性		192	196	193
平均年齢(在籍人員)			40.2	40.6	40.9
	男性	歳	40.5	40.8	41.0
	女性		39.2	40.0	40.4
平均勤続年数			16.9	17.0	17.6
	男性	年	17.9	18.0	18.5
	女性		13.9	14.2	15.0
離職率		%	1.1	1.4	2.4
育児休暇			15	19	24
	男性	名	1	4	6
	女性		14	15	18
	復帰率	%	100	100	100
介護休暇・休職			4	4	1
	男性	名	3	3	0
	女性		1	1	1
有給休暇取得率		%	43.9	46.5	55.8

管理職の状況



障がい者雇用率(毎年6月時点)



グローバル人財の育成に向けた公募研修

労働安全衛生

雇用環境の整備

ニチバンでは、社員が仕事と家庭生活を両立し、その能力を十分に発揮できるよう雇用環境の整備を行い、社員と会社双方の成長につながるよう支援しています。2018年12月には、東京労働局長より基準適合一般事業主としての認定を受け、3回目の「次世代認定マーク」（愛称：くるみん）を取得しました。引き続き、第5期行動計画（2018～2020年度）を策定し、推進しています。

第5期行動計画目標と対策（期間：2018年4月1日～2021年3月31日）

目 標	対 策
育児等を行う社員の仕事と家庭生活の両立を支援するための雇用環境の整備	<ul style="list-style-type: none">柔軟な働き方（病気と仕事の両立、育児・介護と仕事の両立等）ができる環境の整備男性社員の育児休職取得促進のための周知啓蒙女性活躍支援措置の実施
所定外労働時間削減、年休取得促進への施策推進	<ul style="list-style-type: none">勤怠データを活用した時間外労働の削減年休取得率向上に向けた取得促進施策の立案と推進
若年者に対するインターンシップ等の就業体験機会の提供	<ul style="list-style-type: none">インターンシップを定期実施

ワークライフバランスの推進

ニチバンでは、社員の仕事と生活の調和（ワークライフバランス）推進の一環として、法定の「年次有給休暇」に加え、さまざまな休暇・休職制度を整備しています。私傷病のための「傷病休暇」、子育てのための「育児休職制度」・「育児短時間勤務制度」、家族の介護を目的とした「介護休職制度」・「介護短時間勤務制度」のほか、勤続10年ごとに取得できる「リフレッシュ休暇」、社会貢献活動のための「ボランティア休暇」などを設けています。

Voice 育児休職取得者の声

職場の理解と配慮があり育児休職がとれたことに感謝すると同時に、職場や取引先などあらゆる関係者のサポートがあって初めて、ワークライフバランスが成り立つのだと感じました。自分がサポートを受けた分、今度は自分が他の人をサポートすることで、みんなのワークライフバランスが推進できるとよいと思います。



生産本部 生産・設備統括部
渡辺 創

労働災害防止・社員の健康管理

ニチバンでは、中央安全衛生委員会を年2回開催し、労働災害の発生内容や健康診断の実施状況について確認しています。労働災害防止の取り組みとして、毎年定期的に安全体感教育を実施しています。「挟まれ」や「巻き込まれ」、「感電」などの擬似体験により痛みを体感することで、危険に対する感受性を向上させることを目的としています。2019年度は、重大な労働災害の発生はありませんでした。引き続き労働災害防止に積極的に取り組み、安全な職場づくりを進めていきます。

地域・社会への貢献

障がい者支援

発達に課題を抱える児童に「芸術の楽しさ」や「作品づくりの面白さ」を知ってもらうことを目的に、セロテープ®工作のワークショップを年4回を目標に開催しています。2019年度は、セロテープ®工作監修者であり、世界で唯一のセロテープアート®作家である瀬畑亮氏の指導のもと、支援学級教室に通う小学生を対象とするワークショップのほか、障がい者福祉の啓発と推進を目的とする愛知県安城市主催の「あんぷくまつり」にも参加して、皆さまと一緒に動物や花などの立体物づくりを行いました。



「あんぷくまつり」での、みんなのセロテープ®工作

森の保全活動

日本製紙株式会社の江津工場（島根県江津市）で「セロテープ®」の素材であるセロハンの主原料となる溶解パルプを生産していることから、近郊の江の川流域（島根県邑智郡）に広がる同社の社有林の一部において、「森のしずく」保全活動※1を実施しています。これは植樹や間伐など適切な手入れを行うことで、空気や水をきれいにし、土砂災害を防ぐなど、森の本来の力を高めるための取り組みです。

また「巻心ECOプロジェクト」開始時より、フィリピンでのマングローブ植樹・メンテナンス活動※2を支援しています。これは環境NGO『イカオ・アコ』が1997年から実施しているもので、ネグロス島・ボホール島各地に、これまで約130万本の植樹を行ってきました。ニチバンでは、このうち20万本以上の植樹に協力しています。



フィリピンでのマングローブ植樹(2020年5月実施)

※1 国内植樹第3回(2020年5月に開催予定)は、新型コロナウイルスの感染予防のため、2021年に延期しました。

※2 現地スタッフの協力のもと、新型コロナウイルスの感染予防に努めながら、2020年5月より徐々に活動を再開しています。

事業所周辺地域とのコミュニケーション活動<タイ>

ニチバンタイランドおよび合併会社ユニオン・タイ・ニチバンは、2019年9月にタイ大塚製薬株式会社主催のCSR活動に参加しました。本活動では、ラチャブリー県のバンブーケ小学校への寄付や、寄付金で建築・改修した学校設備の寄贈式、各社の社員による植樹を行ったほか、バスケットボールやサッカーを通じて児童と交流を深めました。今後も事業活動を行う地域社会に貢献できるよう、さまざまな活動を推進していきます。



ニチバングループからは7名の社員が参加

その他の取り組み

小学校への出前授業 https://www.nichiban.co.jp/corp/sustainability/feature/winding_core/